

くらしの願い、まっすぐ市政に届けます



日本共産党市会議員

イモト 有 ニュース

第 22 号

2022年
10月5日

井本 有一
☎080-3831
-3159

布施屋駅トイレアンケート結果

32人の方々から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

1, 駅の利用目的（複数の回答あり）

通勤 17 通学 11 通院 2 買い物 2 旅行 2 その他 1

2, トイレについて

必要 11 あった方がよい 13 無くてよい 7 どちらとも言えない 1

車両にもあるし、維持管理コストもかかるので、無くてよい。トイレがほしいと思っていた。設置するなら洋式のトイレがほしい。きれいなトイレにしてほしい。寒い日はたいへん。電車内のトイレが混んでいる時がある。

3, ホーム屋根について

必要 17 あった方がよい 13 無くてよい 1 どちらとも言えない 1

雨天の乗降時にすごく不便、濡れた傘のまま車内に入ることになり迷惑そうな顔をされる。待合室も狭すぎる。なぜ屋根を無くしたのか理由が知りたい。粉河橋本方面のホームにもほしい。跨線橋にも屋根がほしい。

4, その他要望など

ホームにもベンチがほしい。駐輪禁止区域の自転車が非常にじゃま。行政が費用負担をするのであれば別だが、JR西日本も赤字で大変。みんなが使いやすい駅にしてほしい。列車本数を増やしてほしい。駐輪場に防犯カメラをつけてほしい。イコカが使えるようにしてほしい。

9月議会での一般質問

9月15日から開催中の和歌山市議会9月定例会で、私、井本有一は一般質問をし、JR布施屋駅および田井ノ瀬駅へのトイレとホーム屋根の設置を求めました。



質問中の井本有一

質問内容は次のとおりです。

JR和歌山線布施屋駅と田井ノ瀬駅の駅舎建て替えに伴い、トイレとホーム屋根も撤去されてしまった。

熊野古道ウォークなど、旅行での利用者が駅周辺でトイレを借りに来るなど困っているとの声がある。また、ホーム屋根が撤去され、雨の中

で傘をさしたまま電車を待つのが大変である。利用者アンケートを実施したが、75%の人がトイレを94%の人がホーム屋根の設置を望んでいる。

質問 市としてJR西日本と協議し、利用者のためにホーム屋根及びトイレを設置するなど対応が必要であると思うがどうか。公共性の高い駅の施設の重要性をどう認識しているか。

尾花市長答弁 駅利用者にとって、利便性に資するものであると思うが、本来それを所有する鉄道事業者が実施するものと考えてる。

都市建設局長答弁 駅の利用状況やコスト削減の観点からやむを得ないと考える。待合室や車両トイレ利用の周知をJR西日本に申し入れていく。

マイドキュメント

今回の議会質問での市長と都市建設局長の答弁は、困っている駅利用者の立場に立たない内容で、腹立たしい思いです。しかし、今回初めて議会質問で取り上げただけで、市当局ともさらに議論の積み重ねが必要だと思います。

私は3年前に市会議員になって以来、バス路線廃止やデマンドタクシーなど公共交通の問題を2回取り上げましたが、納得のいく答弁はなかなか得られませんでした。しかし、来月から四ヶ郷地区など市内6か所で、地域バスの実証運行が行われます。このように、粘り強く取り組むことが大事です。

今後も皆さんの声を議会にとどけ、くらし福祉の向上にがんばります。

